

① 海洋ごみアート

イベントDAY2のビーチクリーンで集めたごみを使って、ウミガメのオブジェを作成しました。赤・黄・緑・青・黒と色とりどりの作品になりました。



② オリジナル新聞

イベントDAY2の参加者がイベントで印象に残ったことをベスト3にまとめオリジナル新聞を作成しました。



毎に遊びに行きたごみを持ち帰ろう

SDGs新聞

【発行日】2022年 9月27日
【発行者】むなかた市 小5年 高橋 真由

①海をきれいにする
②ごみを減らす
③ごみを分別して持ち帰る
④ごみを燃やさない
⑤ごみをリサイクルする

【編集後記】
海をきれいにするには、ごみを減らすことが大切です。ごみを分別して持ち帰ることで、ごみを燃やさないでリサイクルすることができます。

海のごみゼロ

SDGs新聞

【発行日】2022年 9月27日
【発行者】むなかた市 小5年 高橋 真由

①海をきれいにする
②ごみを減らす
③ごみを分別して持ち帰る
④ごみを燃やさない
⑤ごみをリサイクルする

【編集後記】
海をきれいにするには、ごみを減らすことが大切です。ごみを分別して持ち帰ることで、ごみを燃やさないでリサイクルすることができます。

海を大切に

SDGs新聞

【発行日】2022年 9月17日
【発行者】むなかた市 小5年 高橋 真由

①海をきれいにする
②ごみを減らす
③ごみを分別して持ち帰る
④ごみを燃やさない
⑤ごみをリサイクルする

【編集後記】
海をきれいにするには、ごみを減らすことが大切です。ごみを分別して持ち帰ることで、ごみを燃やさないでリサイクルすることができます。

もと海をきれいにしよう!!

玄界灘新聞

【発行日】2022年 9月17日
【発行者】むなかた市 小5年 高橋 真由

①海をきれいにする
②ごみを減らす
③ごみを分別して持ち帰る
④ごみを燃やさない
⑤ごみをリサイクルする

【編集後記】
海をきれいにするには、ごみを減らすことが大切です。ごみを分別して持ち帰ることで、ごみを燃やさないでリサイクルすることができます。

きれいな海を守ろう*

むなかたSDGs新聞

【発行日】2022年 9月17日
【発行者】むなかた市 小5年 高橋 真由

①海をきれいにする
②ごみを減らす
③ごみを分別して持ち帰る
④ごみを燃やさない
⑤ごみをリサイクルする

【編集後記】
海をきれいにするには、ごみを減らすことが大切です。ごみを分別して持ち帰ることで、ごみを燃やさないでリサイクルすることができます。

自然の大自然

SDGs新聞

【発行日】2022年 9月17日
【発行者】むなかた市 小5年 高橋 真由

①海をきれいにする
②ごみを減らす
③ごみを分別して持ち帰る
④ごみを燃やさない
⑤ごみをリサイクルする

【編集後記】
海をきれいにするには、ごみを減らすことが大切です。ごみを分別して持ち帰ることで、ごみを燃やさないでリサイクルすることができます。

たのしがたぞよ!!

海ごみゼロ新聞

【発行日】2022年 9月17日
【発行者】むなかた市 小5年 高橋 真由

①海をきれいにする
②ごみを減らす
③ごみを分別して持ち帰る
④ごみを燃やさない
⑤ごみをリサイクルする

【編集後記】
海をきれいにするには、ごみを減らすことが大切です。ごみを分別して持ち帰ることで、ごみを燃やさないでリサイクルすることができます。

海のごみをへらそう!!

天才樹新聞

【発行日】2022年 9月17日
【発行者】むなかた市 小5年 高橋 真由

①海をきれいにする
②ごみを減らす
③ごみを分別して持ち帰る
④ごみを燃やさない
⑤ごみをリサイクルする

【編集後記】
海をきれいにするには、ごみを減らすことが大切です。ごみを分別して持ち帰ることで、ごみを燃やさないでリサイクルすることができます。

海をFLYしよう

海ごみゼロ新聞

【発行日】2022年 9月17日
【発行者】むなかた市 小5年 高橋 真由

①海をきれいにする
②ごみを減らす
③ごみを分別して持ち帰る
④ごみを燃やさない
⑤ごみをリサイクルする

【編集後記】
海をきれいにするには、ごみを減らすことが大切です。ごみを分別して持ち帰ることで、ごみを燃やさないでリサイクルすることができます。

海のごみ拾い体験



今日海のごみ拾い体験をした皆さんの写真を写し、新聞に載せてもらいました。

☆玄海☆新聞

【発行日】2022年9月17日
【発行所】玄海新聞社

①海のごみ拾い体験
②魚はなぜ泳ぐのか
③お魚の不思議

「海のごみ拾い体験」は、海をきれいにするだけでなく、海の生態系を守ることも大切です。お魚はなぜ泳ぐのか、お魚の不思議など、海の生き物について学びました。

【発行日】2022年9月17日
【発行所】玄海新聞社

④お魚の不思議
⑤お魚の不思議

お魚はなぜ泳ぐのか、お魚の不思議など、海の生き物について学びました。

【発行日】2022年9月17日
【発行所】玄海新聞社

「むなかたSDGs教室」にまんが!!



SDGs新聞

SDGs新聞にまんがが載りました。SDGs新聞は、SDGsの目標をわかりやすく伝えるための新聞です。SDGs新聞に載ったまんがは、SDGsの目標をわかりやすく伝えるための新聞です。

【発行日】2022年9月17日
【発行所】SDGs新聞社

①SDGs新聞
②SDGs新聞

SDGs新聞に載ったまんがは、SDGsの目標をわかりやすく伝えるための新聞です。

【発行日】2022年9月17日
【発行所】SDGs新聞社

SDGs 取組む!!



自ぜん太新聞

自ぜん太新聞にSDGsの取組が載りました。自ぜん太新聞は、SDGsの目標をわかりやすく伝えるための新聞です。自ぜん太新聞に載ったSDGsの取組は、SDGsの目標をわかりやすく伝えるための新聞です。

【発行日】2022年9月17日
【発行所】自ぜん太新聞社

①SDGs新聞
②SDGs新聞

自ぜん太新聞に載ったSDGsの取組は、SDGsの目標をわかりやすく伝えるための新聞です。

【発行日】2022年9月17日
【発行所】自ぜん太新聞社

海ごみゼロ新聞



海ごみゼロ新聞

海ごみゼロ新聞にSDGsの取組が載りました。海ごみゼロ新聞は、SDGsの目標をわかりやすく伝えるための新聞です。海ごみゼロ新聞に載ったSDGsの取組は、SDGsの目標をわかりやすく伝えるための新聞です。

【発行日】2022年9月17日
【発行所】海ごみゼロ新聞社

①海ごみゼロ新聞
②海ごみゼロ新聞

海ごみゼロ新聞に載ったSDGsの取組は、SDGsの目標をわかりやすく伝えるための新聞です。

【発行日】2022年9月17日
【発行所】海ごみゼロ新聞社

③パノラマ新聞

イベントDAY1・DAY2の様様や海洋ごみ問題、参加者作成のオリジナル新聞などを掲載したパノラマ新聞（通常の新聞4頁相当）を作成しました。

<表>



☞ 表面は、海と日本プロジェクト及びむなかたSDGs教室の概要、世界遺産の概要、イベントDAY1・DAY2の様様、海洋ごみ問題についてまとめた記事を掲載。

<裏>

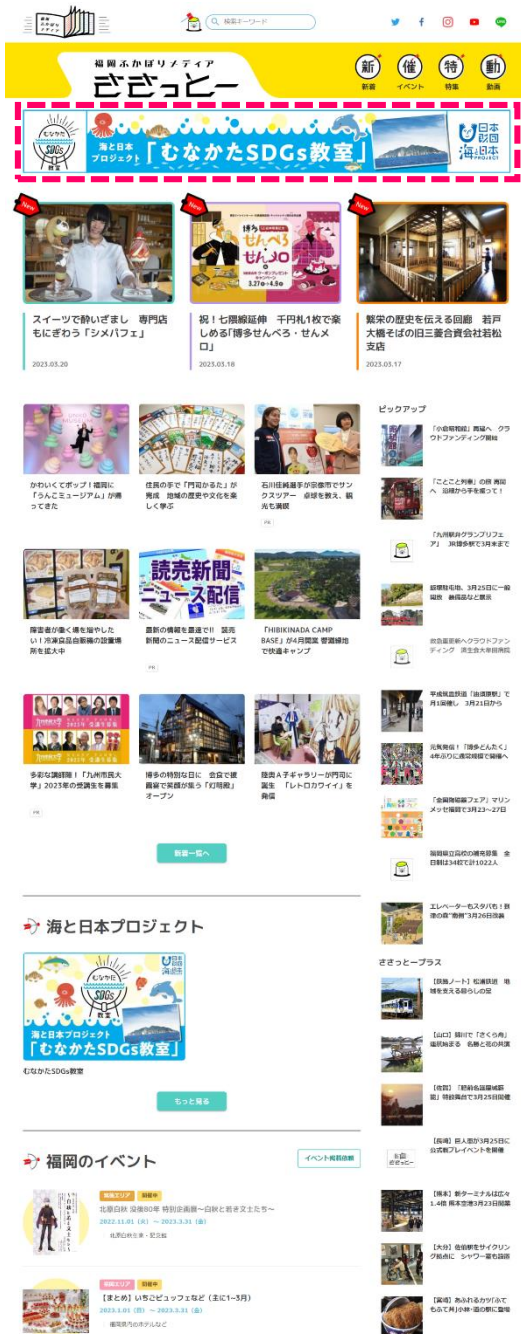


☞ 裏面は、イベントDAY2に参加した子どもたちが作成したオリジナル新聞を全員分掲載し、ギャラリースペースに。

④ 福岡ふかぼりメディア「ささっとー」

読売新聞西部本社が運営する福岡をはじめとした九州の様々な情報をお届けするローカルWEBメディア「福岡ふかぼりメディアささっとー」に海と日本プロジェクトの特設コーナーを設け、イベント情報などを発信しました。

<PC画面>



▽バナーをクリック（タップ）すると、海と日本プロジェクトの特設コーナーにリンクします。

<スマホ画面>



<福岡ふかばりメディアささっとー 特設コーナーの配信記事一覧>

ホーム > 企画 > 海と日本プロジェクト > むなかたSDGs教室

→ むなかたSDGs教室



世界遺産と美しい海を未来へ
宗像・大島でビーチクリーン

企画



海の大切さを学び理解を深める！
地島で「むなかたSDGs
新聞教室」

企画



宗像国際環境会議を宗像大社
で開催 「常若」をテーマに

企画



「神宿る島」学ぶツアーに
400人 沖ノ島の世界遺産登
録5周年で

企画



「むなかたSDGs教室」
イベント情報

【海と日本プロジェクト】海
で遊び、海を学ぶ「むなか
たSDGs教室」開催！

企画



世界遺産の海をきれいに！
宗像・大島でビーチクリーン

企画



海ごみの実態を学んで新聞づ
くり むなかた子ども大学

企画



カーボンニュートラルな街に
するには？宗像国際環境会議
イベントで学生が議論

企画



宗像の小学生が清掃活動を通
して海環境を体感

企画



【海と日本プロジェクト】沖
ノ島の世界遺産登録5周年 記
念事業や「むなかたSDGs教
室」でゆたかな海を次代に

企画



「海の問題に関心を」
漂着物に『いのち』を吹き込
むアーティスト

企画



【海と日本プロジェクト】海
岸清掃やごみアートで海環境
を学ぶ「むなかたSDGs教
室」DAY2

企画



【海と日本プロジェクト】竹
漁礁とアマモで海を豊かに
「博多湾守り隊！」の活動ス
タート

企画



【海と日本プロジェクト】地
引網やカヌーで海の恵みを体
感「むなかたSDGs教室」
DAY1

企画



「チリモン」を探せ！ 虫眼
鏡とピンセットを手に子ども
も大人もみんな夢中に

企画



【海と日本プロジェクト】美
しい海を未来へ 高校生らが
海洋環境問題を議論

企画

< 1 2 >

1 2 >

イベントで作成した海洋ごみアートや参加者作成のオリジナル新聞、成果物として発行したパノラマ新聞を展示しました。

①イオンモール福津「サステナフェス2022」

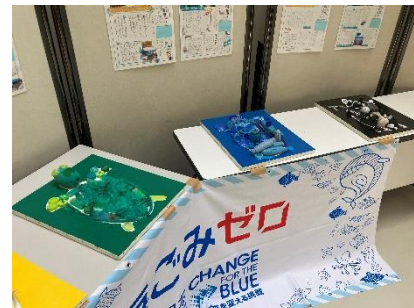
展示場所：イオンモール福津 2Fレストラン街（福岡県福津市日蒔野6丁目）
展示期間：2022年10月29日（土）～11月6日（日）



📍 SDGsをテーマとしたサステナフェス2022（宗像市、福津市共催）で「むなかたSDGs教室」のコーナーを設けました。

②海の道むなかた館

展示場所：海の道むなかた館 1F（福岡県宗像市深田588番地）
展示期間：2022年12月～展示中



📍 世界文化遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群のガイダンス施設で「むなかたSDGs教室」のコーナーを設けました。

成果物として作成したパノラマ新聞の読者アンケートを実施しました。

回答期間：2023年2月3日（金）～2月24日（金）

回答数：38件

▶パノラマ新聞内にアンケートフォームにリンクする二次元コードを記載。



<読者アンケート回答結果>

Q.年齢をご選択ください。

選択肢	回答数	割合
10歳未満	2	5.3
10代	2	5.3
20代	1	2.6
30代	1	2.6
40代	10	26.3
50代	11	28.9
60代	6	15.8
70代以上	5	13.2
合計	38	100%

Q.性別をご選択ください。

選択肢	回答数	割合
男性	13	34.2
女性	25	65.8
回答なし	0	0.0
合計	38	100%

Q.紙面を見て、海の環境問題への関心度は高まりましたか？

選択肢	回答数	割合
とても高くなった	22	57.9
高くなった	16	42.1
あまり変わらなかった	0	0.0
変わらなかった	0	0.0
分からない	0	0.0
合計	38	100%

Q.マイクロプラスチック問題を知っていましたか？

選択肢	回答数	割合
知っていた	38	100.0
知らなかった	0	0.0
合計	38	100%

Q.年間で海に行く頻度はどのくらいですか？

選択肢	回答数	割合
0日（全く行かない）	5	13.2
1日	6	15.8
2～3日	10	26.3
4日～9日	5	13.2
10日以上	12	31.6
合計	38	100%

Q.地球上の海洋ごみの量が魚の量を上回るのは何年と予測されているのでしょうか？

選択肢	回答数	割合
2040年	1	2.6
2050年	37	97.4
2060年	0	0.0
2070年	0	0.0
合計	38	100%

Q.紙面を見た感想をご自由にご記入ください。

No.	回答
1	分かりやすい文章で、海洋ゴミ問題を教えていただき、自分にできることはやりたいなと思いました。
2	こんな、報道は随時してもらいたい。
3	自分の生活を考えると海洋ゴミの現状が想像できないけど個人それぞれが意識して生活しなければならぬと思います。

No.	回答
4	近くに海があり、たまに散歩に行きます。シーグラスや貝殻拾いが好きなので下を向いて歩いています。大きいゴミは比較的少ないのですが、マイクロプラスチックといわれる細かいゴミは多いと感じました。今度行く時はザルのようなものを持って行って砂を掬ってみようと思いました。何気に訪れているところがこのような記事によって次訪れた時の行動が変化に繋る、少しずつでも増えていくと良いですね。
5	子供が小さいころには、よく海へ行っていました。その時もゴミがあって足元が危ないなあと思ったこともありました。海の動物がビニール等を飲み込んでいることも報道等で知り、心が痛くもなりますね。今後の子供達の環境のためにも、地球のためにもこの問題、取り組みについては継続して行った方が1番だと思いました。
6	海洋ゴミに関心しました。海の日に国を挙げてゴミ収集のキャンペーンをしましょう。
7	小学生の頑張っている姿が頼もしく感じられました。
8	私達が快適に生活できるようになったけれど、ゴミ問題は皆が真剣に取り組んでいかなければいけない大問題です。海のゴミ問題もですが道ばたに平気でゴミを捨てる何も考えてないからできる事なんでしょうが、私はそのゴミを拾います。海も同じです。そのうちに魚もいなくなり、ゴミが泳いでる。そんな光景が目に見えます。まだ昔のようにきれいな海を取り戻せると私は思ってます。ボランティア活動ゴミ拾い。全国的に広がる事を願ってます。
9	面白い取り組みだと思っています。
10	素晴らしかったです。
11	むなかたSDGs教室イベントに参加された皆さんの思いが、紙面から伝わりました。海洋環境対策に取り組まれてる方達のご苦勞は既に理解できているつもりです。この様に若い頃からの教育や習慣で、世界の海洋環境を変えていこうとする若者達に敬意を表したいと思います。日本は海に囲まれて、海洋環境から目が離せない国です。私達人間が海洋環境を悪化させて、それが又私達に回りまわってくる事を自覚して、一人一人が、考えて行動を起こさないと、美しい地球を守れませんね。私は生ゴミコンポストを作り家庭菜園に還しています。又洗剤にも関心を持ち、賢く生きたいと考えてます。これからも小さなSDGsを探します。それを周りの未来ある子供達に教え伝えていく事が私達大人の最後の仕事だと考えてます。日本の美しい山や海の風景を守っていきましょう。最後に新聞を作り、呼びかけて下さった小学生の皆さんの明るい未来を祈っています。
12	こどもにもわかりやすい内容だったようで、娘も興味を持って読んでいました。今後もこういった企画を提案していただきたいと思います。
13	せめて自分のごみは、適切な方法で処理するように、こころがけたい。小さな取り組みだけど、その積み重ねが大事だと思う。
14	身近な宗像の海での取り組みを詳しく知ることが出来ました。特に子どもたちの頑張りには感心して、「大人も頑張らないと」という気持ちになりました。
15	一人でも、出来ないではなく、生活スタイルとして日々資源問題に取り組む様、心がける。

No.	回答
16	簡潔に書かれていて理解しやすかった。
17	このような取り組みがあることを知りませんでした。未来を担う子ども達を頼もしく思うと同時に、我々大人も努力しなければ、と思いました。
18	「むなかたSDGs教室」に関するご説明やSDGs新聞興味深く拝見しました。私自身、海の近くで生まれ育ったので「きれいな海を未来へ残すために」という言葉が心に残りました。子どもの頃から意識を高く持つことも重要だと感じますし、自分自身が出来る事を考えて実行したいです。
19	SDGsは今後大切な環境問題です。自分達にできる事、1つ1つ実行していきます。
20	変わった紙面で目を引きました。多くの児童や学生さん達が、教室活動を通じて学び体験し清掃していることを知りました。ありがとうございます。昔一度観光に行ったことがあります。その時は「宗像大社の島」自体、神体で女性は近寄れないときき、厳かすぎて不気味にも感じました。紙面を読み、今日改めて歳を重ね行ってみたいと思いました。
21	SDGsの小学生新聞の内容に関心しました。
22	たまたま実家で読売新聞を読もうとして、この通信が目にとまりました。小学4～6年生の参加者が作った新聞を読んで、楽しく海の環境を守り・伝える活動ができたことがわかりました。私が非常勤で勤務する添田小学校でSDGsについて学習しているので、早速図書室前廊下に掲示しました。しかし、片面しか掲示できないので、もう一部あればと思います。私宅も勤務先も読売新聞では無いので、探しましたが見つかりません。どちらに申し込めば手に入るでしょうか？
23	海の近くに住んでいますが、自分でも協力できる事があるのに気付きました。
24	子どもたちが一生懸命書いた新聞がとても素敵で印象的でした。
25	繰り返し使えるものを買うようにしたりしてごみを減らしていきたいです。
26	みんなの新聞が素敵でした。マイクロプラスチックがあることはしてましたが、こんなに近くのゴミが捨ててあるとは知りませんでした。写真いっぱい、大きくて読みやすかったです。そしてTシャツ、カッコいいです！
27	数年でもいいから、早く、地球のゴミを減らしたい。
28	良い取り組みですね。これからも続けて欲しいです。私も気が付いたらゴミを片付けて行きたいです。
29	海のゴミ毎日拾っても、流れてくると福津、古賀の知り合いからききびっくりしていましたが、子供達も、興味を持ち、考える機会が出来てよかったです。
30	海に行くと必ず浜辺にあるゴミを見かけます。子供と一緒にビーチクリーンに参加してみたいなと思いました。

No.	回答
31	近場（宗像市）でこういったプロジェクトがあることを知り、地球環境のため、子ども達の意識のためにも参加したい取り組みだと感じた。一人一人の小さな行動で、子ども達が気持ちよく住み続けられる地球、地域にしていきたいと再確認させられた。子ども2人も熱心に記事を読んでいます。
32	釣りによく行くので、目にする機会が多い事で、何回かはゴミ拾いに参加したけど、やはり隣国からのゴミが多い。日本からのものが東の国に上がらない様に、ゴミは適切に処理する様に心がける他、国際的な取り決め等も決める必要があるだろうし、少しでも自分の事と意識をもつべきである。
33	わかりやすく簡潔に書いてあり、読みやすかったです。動物が好きなので、ウミガメなどの生き物に影響が出るのが悲しく思います。自分自身はゴミを捨てたりはしませんが、風に乗って飛んでしまったりすることもあるだろうし、落ちているものを拾っていかないと環境は守られないと思います。心がけていこうと思います。
34	こんなにゴミが流れ着いているとは知りませんでした。息子は刺身が好きなので、「食べられなくなったらいやだな…。」と言ってました。いろいろ考えさせられました。
35	オリジナル新聞をもっと自由度を高くしてくれると、良かったかなと思いました。
36	やはり実際に体を使って体験することは大切だと感じます。魚を触ることさえ特別な事になっている子ども…に限らず、人間と自然の距離を残念に思います。でも、密接に繋がっていることを再認識しました。
37	次世代に向けた海洋ゴミ問題の重要性に、真剣に取り組む事に気付かされた。
38	若い学生による海洋ごみに対する取り組みに大変感銘を受けました。私も微力ながらゴミの分別など気を付けたいと思います。

<プレゼントキャンペーン>

アンケート回答者の中から抽選で3名に宗像市特産品詰め合わせが当たるキャンペーンを実施。

— 賞品内容 —

- ・むなかた鶏カレー
- ・きなこくるみ
- ・宗像わかめ豚骨ラーメン
- ・漁師の茶漬け
- ・むなかた鶏のやわらか炭火焼

各1個

